

夏季休業が終了し元気な君たちの姿を目にして大変うれしく思います。

この夏休みにはインターハイや全国高等学校総合文化祭等の全国大会があり、出場した本校生徒は全力を尽くして頑張りました。中でも科学部は「土壌微生物を用いたバイオ水素生産の研究」で自然科学の生物部門で最優秀賞を受賞しました。これまでの地道な努力の積み重ねがあつての受賞です。大変な快挙で心より功績を讃えたいと思います。本校から全国トップの結果を出せる生徒がいました。次は君たちの番です。自分の良い面を伸ばし、これからも様々な分野で活躍することを期待しています。

さて、君たちは将来全員が社会人となり、職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事をして行くこととなります。そこで2学期の始まりに際し、社会人として仕事をして行くために必要な力について話をしたいと思います。平成18年に経済産業省が有識者会議を経て「社会人基礎力」としてどのような仕事であっても必要とされる最低限の能力について発表しましたので紹介します。

社会人基礎力(職場や地域社会で多様な人々と仕事をしてゆくために必要な基礎的な力)

- 1 前に踏み出す力(アクション)⇒一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力
 - ①主体性(物事に進んで取り組む力)
 - ②働きかけ力(他者に働きかけ巻き込む力)
 - ③実行力(目的を設定し確実に行動する力)
- 2 考え抜く力(シンキング)⇒疑問を持ち考え抜く力
 - ①課題発見力(現状を分析、目的や課題を明らかにする力)
 - ②計画力(課題解決に向けてプロセスを明らかにし準備する力)
 - ③造力(新しい価値を生み出す力)
- 3 チームで働く力(チームワーク)⇒多様な人々とともに目標に向けて協力する力
 - ①発信力(自分の意見をわかりやすく伝える力)
 - ②傾聴力(他人の意見を丁寧に聴く力)
 - ③柔軟性(意見や立場の違いを理解する力)
 - ④状況把握力(自分と周囲の関係性を理解する力)
 - ⑤規律性(社会のルールや約束を守る力)
 - ⑥ストレスコントロール(ストレスに対応する力)

この12の能力要素のうち企業が採用時に最も重視する項目について調査したところ、1位は「主体性」で87%、次に「実行力」で54%だったそうです。企業の求める社会における主体性とは「指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に物事に取り組む力」とされています。指示待ち人間やマニュアル人間のように、自分で物事を考えて判断できずにすべての判断を他人に頼るようでは社会人としては失格だということです。

今紹介した「社会人基礎力」について高校生である君たちはどのように受け止めましたか。実は「社会人基礎力」は社会人になってから練習すればすぐに習得できるものではないのです。君たちの今の生活すべてが社会人基礎力を学ぶ場になっていると言っても過言ではありません。例えば、今君たちは来週末の文化祭のためにクラスや部活動の参加団体のみんなで一つのものを創り上げるため、チームとして頑張って準備をしています。意見の食い違いがあっても友人の意見に耳を傾け状況を把握し柔軟に対応し、さらに良いものを創り上げようとしていると思います。行事を成功させるために皆で頑張ること一つをとっても、それが社会人として自立するための学びになっているのです。また、学生である君たちは自分の進路を考え高い目標を立て、その実現のために一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く学習に取り組んでいかなければなりません。君たちは今の学びを積み重ねることで社会人として自立した人間に成長できるのだと考えます。

2学期は大きな行事がたくさんある学期です。大いに盛り上げて柏中央高校生の底力を見せてください。また、それだけでなく本業の学習面もきちんとやれるのも柏中央高校生です。コツコツと学びを重ねることは誰もがたづなくて逃げ出したくなることもあると思います。行事や部活動を理由にして、学習に努力できない自分をごまかしていませんか。始業式に当たりもう一度自らを省みて新たな気持ちでまた歩き出してください。3年生は2学期が勝負です。あきらめてはいけません。現役生の君たちはここから大きく伸びます。成功と失敗のぎりぎりの高い目標を立て、その達成のために失敗を恐れずに粘り強く努力を重ねることです。教員生活38年の私は飛躍的に伸びた生徒をどれだけ多く見てきたことか、人は変わるのです。すべての学びに近道はありません。君たちは自分の可能性を信じて高い目標に向かって最後の最後まで頑張ることです。

文化祭を始め多くの行事をチーム柏中央で成功させるとともに、君たちがそれぞれの進路目標に向かって全力で粘り強く最後まで頑張りぬくことを期待します。